



## 千葉市 科学フェスタ これからの私たち 2020

10月10日(土)  
・11日(日)  
きぼーる  
で開催

### ちょっと先の未来を体験しよう!

VRで野球の臨場感を体験したり、遠隔操作で離れた場所から移動や会話が体験できるロボット、一人乗り次世代パーソナルモビリティによる自動運転など、暮らしを便利で豊かにするちょっと先の未来のテクノロジーを体験してみませんか。

日時 10月10日(土)・11日(日)  
10:00~16:00

会場 きぼーる広場

定員 各日先着150人(当日  
9:30から会場で整理券を配布)



パーソナルモビリティ ILY  
画像提供=アイシン精機

### 千葉オンリーワン企業と身近な科学

ユニークな技術や製品を開発する、さまざまな分野の市内企業が大集合。ビデオプレゼンテーションや製品を展示し、その技術を紹介します。

日時 10月11日(日)11:00~  
15:00

会場 科学館(7階)



### 科学体験ブース

誰でも気軽に科学を体験できます。

日時 10月10日(土)・11日(日)10:00~12:15、13:45~16:00

会場 子ども交流館(3階)

- 内容
- いっしょにスライムを作ってみよう!
  - 金ぞくすい理ゲーム  
~鉱山から地金まで~
  - オエカキロボットに挑戦!  
~はしごをかけない教育~
  - 特許って何?発明工作体験
  - 生態系シミュレーション  
[SyLife]
  - ほうしゃせん!?ホウシャセン?~放射線を科学する~
  - 小枝の鉛筆を作ろう(森からの贈り物) など



定員 各回先着100人

申込方法 10月3日(土)から、電子申請で。

### 理科自由研究科学館賞作品発表会

小・中学生が、自分の受賞作品を発表します。

日時 10月10日(土)10:30~12:00

会場 科学館(7階)

## 特別史跡加曽利貝塚 第2期発掘調査が始まります

昨年度終了した第1期発掘調査に続き、第2期発掘調査が始まります。第2期では、長径190メートルの南貝塚中央部を調査します。環状に巡る貝塚の中央はどうなっているのか、ムラの構造解明を目指します。

第2期の1年目にあたる今年度は、1964年に調査した南貝塚中央部を再発掘し、縄文時代の住居跡の存在を確認します。

調査区域外から自由に見学できます。新たな発見に立ち会えるかもしれません。ぜひ、お越しください。

日時 10月1日(木)~11月28日  
(土)・(日)・(祝日)、11月24日(火)を除く) 9:00~16:00 雨天中止



大型住居跡  
(直径約13メートル)



ほぼ完全な形で出土した土器  
(高さ約8センチメートル)

### 発掘調査解説

調査員が調査状況や成果などを解説します。

📍発掘調査実施日の14:00~14:15

発掘調査の様子をホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。📄加曽利貝塚 発掘調査日誌

📍加曽利貝塚博物館 ☎231-0129 📠231-4986

月曜日(祝日の場合は翌日)休館



千葉を  
知る

### 十七、日本の宝、特別史跡加曽利貝塚のこれから

2017年10月に、県内で初めて遺跡の国宝にあたる特別史跡に指定された加曽利貝塚ですが、1960年代、開発によって消滅の危機に直面しました。

加曽利貝塚を保存するため、立ち上がったのは県立千葉高校の武田宗久教諭でした。学生や地元市民の協力を得て発掘調査を実施し、遺跡の重要性を示すとともに、魅力や大切さを街頭署名活動や講演などで訴えました。保存すべきという声は市民から全国に広がり、ついに保存が実現したのです。

その後、半世紀以上、大切に守られてきたこの貝塚は、縄文時代の集落や貝塚の跡が周辺の自然とともに良好な状態で保存されていることが評価され、特別史跡の指定へとつながりました。

2017年、史跡に与える影響を最小限に抑えつつ、発掘調査が再開されると、縄文時代晩期の大型住居跡が発見され、この時期も房総半島を代表する集落であったことがわかってきました。



市では2019年に、特別史跡加曽利貝塚とその周辺を一体的に整備するためのグランドデザインを策定し、「発掘調査や研究の成果を世界へ情報発信」、「縄文時代の景観と暮らしが体感できる史跡の整備と活用」、「自然と調和・共存しつつ持続可能な未来の探究」などを柱に、史跡が多く市民に親しまれ、愛され続ける存在となるよう動き始めています。

📍都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 📠245-5476